

議題

7日の参加者の状況と募集人員拡大の提案

参加者募集 50人 120人に拡大

—問題点—

・誘導が難しい 各チームのコーディネートに期待—

では、どうすれば??

嚮をつくる

お迎え方式にする

様々な方法によって参加者が、順調に各チームを回れる方法を継続的に考えていく

7日の前半内容の確定

場所が確定

ホール内—ESD

1F ホール ユヌス

2F ホール(北) 賀川

2F ホール(南) MFI

各チームで、20分の使い方の詳細がわかるスケジュール表作成

タイムテーブルのたたき台を作成し、意見を集める。

7日の後半内容の確定

神戸プロジェクトは一つのチームぐらいに考えていく

ESD、ソーシャルワークを中心にして、前半の知識をまとめていくようなイメージ

例)自分のチームのことをESDと関連づけて語る。

来た人は、知識を受け取る側と決めつけない。

これからのソーシャルワークをどのように構想していくか

そのためのESDのエッセンスという考え方もある。

以上のようなことをふまえてたたき台を改めて作成

文責：小林